

# 静岡市職員文書偽造か

## 市議要求資料 エキパ回数券データ

静岡市の職員が2016年、市と国が共同運営するJR静岡駅北口の地下駐車場「エキパ」に関する公文書を偽造した疑いがあることが14日までに、複数の関係者への取材で分かった。16年2月に発覚したエキパ割引券の窃盗事件に絡み、市議から提出を求められた資料とみられる。市が詳しい調査を進めている。

偽造したとみられる管理委託会社に渡した回数券の支出額を、エキパ回数券の在庫数を管理するために納品と支出を記した文書。市が駐車場機器会社から受け取った回数券の納品額、その後にエキパ回数券のやりとりに関する資料の提出を求められた際、担当していたため、偽造した可能性がされたという情報。職員が詳しいデータがあるという。文書にはも

偽造したとみられる管理委託会社に渡した回数券の支出額を、エキパ回数券の在庫数を管理するために納品と支出を記した文書。市が駐車場機器会社から受け取った回数券の納品額、その後にエキパ回数券のやりとりに関する資料の提出を求められた際、担当していたため、偽造した可能性がされたという情報。職員が詳しいデータがあるという。文書にはも



**エキパ割引券 窃盗事件** 2016年2月、エキパに侵入し割引券(回数券とサービス券の2種)を盗んだとして、静岡中央署は市が管理を委託していた会社の警備員を建造物侵入と窃盗の疑いで逮捕した。その後、静岡地検が不起訴処分としたが、再びエキパ事務所に侵入した疑いで逮捕、起訴され、建造物侵入の罪で有罪判決を受けた。

偽造したとみられる管理委託会社に渡した回数券の支出額を、エキパ回数券の在庫数を管理するために納品と支出を記した文書。市が駐車場機器会社から受け取った回数券の納品額、その後にエキパ回数券のやりとりに関する資料の提出を求められた際、担当していたため、偽造した可能性がされたという情報。職員が詳しいデータがあるという。文書にはも